

《学会開催記》

国際会議 The Processes of Dying in the Ancient Greek World を開催して

藤 井 崇

はじめに

去る 2014 年 9 月 1 日、2 日に、京都修学院の関西セミナーハウスにて、国際会議 The Processes of Dying in the Ancient Greek World を開催した。京都大学白眉センターと同大学大学院文学研究科西洋史学専修の共催で、日本西洋古典学会から協賛をいただいた。この会議は、アーケイック期から古代末期までのギリシア世界を対象に、文学作品、銘文、哲学・医学文献、芸術作品、パピルスにあらわれた死のプロセスを多角的に議論することを目的とし、国内外の一線で活躍している研究者を 9 名招へいして、オーガナイザーであるわたしのものを含めて計 10 本の報告を用意した。対象はすでに重厚な研究蓄積のある死後の世界や、死生観、埋葬文化ではなく、あくまで死のプロセスである。死はいつ始まり、いつ終わるのか。死の始まりから終わりまでの道程には、どのような段階が含まれるのか。ギリシア人はそれをどのように表現したのか。死のプロセスの表現に、ジャンル間相互の影響や対立は存在したのか。死のプロセスはそれが置かれた政治的、社会的、宗教的コンテキストとどのような関係を持っていたのか。漠然とした死生観や、死の文化一般に話を拡散させることなく、今まで研究されることの少なかった死のプロセスに集中することで、各報告間の連携を緊密にしつつ学界に着実な貢献をするというのがわたしの目論見だった。この目論見の成否は、もとより参加者のみなさんのご判断に委ねるしかない。またこの会議の成果は、英文書籍の形で出版される計画なので、当日参加できなかった方々も、そこで今回の企画の首尾を判断くださればと思う。この会議の開催記は『かいほう』誌上にも掲載させていただく予定なので、各報告の概要はそちらに譲ることにして、ここでは会議の全般的な様子を本会議、白眉セッション、ポスターセッションにわけて、オーガナイザーとしての感想も交えつつ簡単にお伝えしたい。末尾に当日のプログラムが添付されている。

本会議

9 月 1 日はあいにくの雨模様だったが、多くの方が南川高志先生（京都大学）のご挨拶か

ら参集してくださった。会期中のべ参加人数は、手元の資料では69名だが、当日飛び入り参加してくださった方も数名おられた。また、大半の報告者と司会者、そして数名の参加者の方々は前日より会場の関西セミナーハウスに宿泊してくださったので、事前にある程度の相互理解の基盤を作ることができたのではないと思う。わたしの Opening Remarks の後、マルティン・チエシュコ先生（京都大学）の報告をもって本会議を開始した。報告の内容はヴァラエティに富むもので、時代的にはアーケイック期・古典期が5つ、ヘレニズム期が3つ、ローマ期・古代末期が5つで、扱う史料から見れば、古典文献が4つ、医学・哲学文献が2つ、銘文が2つ、芸術作品が2つ、パピルスが2つだった。もちろん、複数の時代と史料群にまたがった報告も多く、例えばアングロス・ハニオティス先生（プリンストン高等研究所）の報告は、ヘレニズム期から古代末期までを幅広く射程におさめるものだった。各報告内容を勘案してお願いした司会者の方々のご尽力で、質疑応答もスムーズに進行した。会議の掉尾を飾ったのは、ハニオティス先生にお願いした Concluding Remarks だった。今回のテーマ Dying の頭文字 D から話を起こし、Definition, Diversity, Discourse, Documentation, Development, Differentiation, Desiderata という7つDという観点から、本会議の成果と反省点をダイナミックにまとめてくださった。懇親会として、BBQを1日目夕刻におこなった。朝からの雨もぎりぎりまで止み、非常に幸運だった。桜井万里子先生（東京大学名誉教授）に乾杯の音頭を取っていただき、ギリシャワインも交えた宴は夜遅くまで続いた。宮坂真依子さん（京都大学）や酒嶋恭平さん（京都大学）が準備してくださった花火も、みなさん心から楽しまれたようである。

白眉セッション

この会議の主催者の1つ白眉センターの持つ学際性を最大限に利用し、死のプロセスに比較史的観点から肉薄するために、1日目夕刻に白眉研究員3名による白眉セッションを設けた。夏の学会シーズンの合間をぬって（8月末にヨーロッパ日本研究協会の国際会議がスロベニアで開催されたとのことで、そこから直接この会議に駆けつけてくださった報告者もいた）、日本宗教史、チベット仏教学、日本映画史の研究者が協力してくれた。セッションの司会は、チエシュコ先生にお願いした。報告はどれも非常に力が入ったもので、論点によっては本会議の報告よりも死のプロセスの諸側面をよりの確に捉えていた。質疑応答の時間を十分に確保できなかったのが残念である。セッション冒頭では、白眉センター長の田中耕司先生（京都大学）が、白眉プロジェクトを情熱的に紹介してくださった。田中先生のご挨拶と3名の素晴らしい報告で、白眉プロジェクトの意義はみなさんに理解してもらえたのではないと思う。

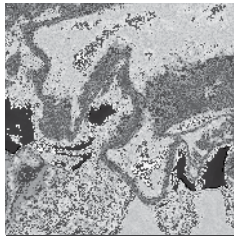
ポスターセッション

この会議のために集まった国内外の第一線の研究者と院生との交流を可能にするために、会議2日目にポスターセッションを設けた。このポスターセッションには、国内外から10名の院生・学振研究員が参加した。彼らは、各自の研究プロジェクトを1人8分の研究報告で披露し、その後、ポスター前での自由討論という形で参加者と意見交換をした。哲学の報告が少なかったのが残念だったが、それを除けば、時代も古典期から古代末期、内容も広義の古典学の幅広いフィールドをカバーする10報告だった。報告はどれも入念かつ堂々たるもので、ポスター前での意見交換も熱気を帯びていた。



謝辞

会議の実現を支援してくださった白眉センターの田中耕司先生、堀智孝先生、水野久代さん、そして文学研究科西洋史学専修のみなさん、特に南川高志先生に心より感謝申し上げます。会議への協賛をくださった日本西洋古典学会、特に中務哲郎先生（京都大学名誉教授）と高橋宏幸先生（京都大学）にも大変お世話になった。また、アンゲロス・ハニオティス先生、マルティン・チエシュコ先生、師尾晶子先生（千葉商科大学）にも、会議の準備あたって様々に親切なアドバイスをいただいた。報告者の招へい手続きなどでは、百村紀美さん、望月佳澄さん、山本智佳子さんをはじめとする京都大学の事務の方々に多大な援助をいただいた。当日の運営では、京都大学院生の笈川侑也さん、酒嶋恭平さん、中嶋瑞希さん、中田恵理子さん、浮網佳苗さん、増永理考さん、宮坂真依子さんに献身的な協力をいただいた。関西セミナーハウスの北野さん、森口さんは、こちらのわがままをいろいろ聞いてくださり、会議の円滑な運営に協力を惜しまれなかった。



MONDAY,
1 SEPTEMBER

PROGRAMME

8:50 | REGISTRATION

9:20 | WELCOME

Takashi Minamikawa (Kyoto University)

9:30 | OPENING REMARKS

Takashi Fujii (Kyoto University)

9:40 | Comic ways of dying

Martin Ciesko (Kyoto University)

Chair: Noboru Sato (Kobe University)

10:40 | COFFEE BREAK

11:00 | Deaths of heroes in the *Iliad* and deaths of the suitors in *Odyssey* 22

Yoshinori Sano (International Christian University, Tokyo)

Chair: Sumio Yoshitake (Nagoya University)

12:00 | Death masked: Watching dying on the Athenian stage

Jonah Rosenberg (New York)

Chair: Toshihiro Osada (University of Tsukuba)

13:00 | LUNCH AT KSH

14:30 | Lamentation and Celebration: Iconography at graves in archaic and classical Athens

Emiko Tanaka (Niigata University)

Chair: Akiko Moroo (Chiba University of Commerce)

15:30 | How to die without dying: Metaphors for dying and Greek mentality

Angelos Chaniotis (Institute for Advanced Study, Princeton)

Chair: Alexis D'Hautcourt (Kansai Gaidai University, Osaka)

16:30 | COFFEE BREAK

16:50 | HAKUBI SESSION -Comparative Approaches to the Processes of Dying

Welcome

Koji Tanaka (Kyoto University)

Descriptions of the process of dying and soteriological options in Tibetan Buddhism

Marc-Henri Deroche (Kyoto University)

"Living Buddhas": The story of the self-mummifying ascetics at Mount Yudono

Steven Trenson (Hiroshima University)

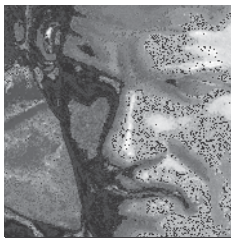
Schoolgirl saints: Hagiographic motifs in the treatment of radiation poisoning in 1950s Japanese 'tendency' films

Jennifer Coates (Kyoto University)

Discussion

Chair: Martin Ciesko (Kyoto University)

19:00 | RECEPTION AT KSH



TUESDAY,
2 SEPTEMBER

PROGRAMME

- 9:00** | **Natural and unnatural death in classical Greek medical and philosophical thought**
Philip van der Eijk (Humboldt-Universität zu Berlin)
Chair: Yutaka Maruhashi (University of Hyogo)
- 10:00** | **'Death is the extinguishing of the innate heat': Galen on the process of dying**
Rebecca Flemming (University of Cambridge)
Chair: Chiye Izumi (Chiba University)
- 11:00** | **COFFEE BREAK**
- 11:20** | **POSTER PRESENTATIONS -Next Generation of Classicists**
- Travel and Greekness in Dio Chrysostom, Lucian and Philostratus**
Yasuhiro Katsumata (Kyoto University)
- Persian iconography on the Lycian tombs in the 5th-4th centuries B.C.**
Yuki Kawase (University of Tsukuba)
- Multi-level Greek community: *Koinon*, *ethnos*, *polis***
Kota Kishimoto (Kyoto University)
- Beyond a mercantile superpower: The foreign policy of the Carthaginian state**
Yi-Jin Lee (Ruhr-Universität Bochum)
- Rethinking the intercity rivalry in the Roman Asia Minor: From the view of new institutional economics**
Masataka Masunaga (Kyoto University)
- Concept of *fides* in Latin literature: Relationships between people depicted in Golden Age Poetry**
Maiko Miyasaka (Kyoto University)
- Representing democracy in Hellenistic Athens**
Kyohei Sakeshima (Kyoto University)
- Evaluation of maritime traders in classical Athens**
Hinako Sugimoto (Kyoto University)
- Salubritas urbis*: Urban environment and administration in early Principate Rome**
Ryosuke Tsutsumi (Osaka University)
- The petition and response system, and formation of law in the Roman Empire**
Kosuke Yamashita (Kyoto University)
- 12:50** | **LUNCH AT KSH**
- 13:40** | **POSTER DISCUSSION**
- 14:40** | **The Processes of dying in Greek funerary inscriptions**
Takashi Fujii (Kyoto University)
Chair: Asako Kurihara (Osaka University)
- 15:40** | **Two failed cases of martyrdom in Alexandria: The dying process and the criteria for martyrdom in early Christianity**
Satoshi Ohtani (Japan Society for the Promotion of Science)
Chair: Hajime Tanaka (University of Tokyo)
- 16:40** | **Prisons, prayers and pestilence: Dying in Late Antique Egypt**
Chrysi Kotsifou (The Van Leer Jerusalem Institute)
Chair: Hajime Tanaka (University of Tokyo)
- 17:40** | **CONCLUDING REMARKS**